

## 再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
 担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	地域高規格道路 <small>みまさかおかのやま</small> 美作岡山道路 一般国道374号 <small>あいだゆのこう</small> 英田湯郷道路	事業区分	一般国道	事業主体	岡山県
起終点	自：岡山県美作市城田 <small>みまさか じょうでん</small> 至：岡山県美作市位田 <small>みまさか いでん</small>	延長	2.5 km		
<b>事業概要</b> 美作岡山道路は、既存の高速道路と一体となって岡山県内に環状高規格道路網を形成し、美作圏域と岡山圏域とを結ぶ基幹的な道路である。 国道374号英田湯郷道路は、美作岡山道路の一部を構成し、地域の産業・経済の活性化に資するとともに、信頼性の高い道路ネットワークを確保する道路である。					
H29年度事業化	都市計画決定 無し	H30年度用地着手	H31年度工事着手		
全体事業費	約91億円	事業進捗率	約27%	供用済延長	— km
計画交通量	16,300台/日				
費用対効果	B/C (事業全体) 5.2 (残事業) 8.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 49/81億円 事業費：46/78億円 維持管理費：2.5/2.5億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 419/419億円 走行時間短縮便益：332/332億円 走行経費減少便益：65/65億円 交通事故減少便益：23/23億円	基準年 令和3年	
<b>感度分析の結果</b> (事業全体) 交通量：B/C=5.1~5.3 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=8.4~8.7 (交通量±10%) 事業費：B/C=4.9~5.5 (事業費±10%) 事業費：B/C=7.9~9.5 (事業費±10%) 事業期間：B/C=5.0~5.4 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=8.2~9.0 (事業期間±20%)					
<b>事業の効果等</b> ①地域産業の支援 英田IC(仮称)付近の企業の関西方面への物流の安定化、効率化とともに、美作市による産業団地開発計画があり、道路整備により新たな企業進出を支援 ②地域防災の支援 事前通行規制区間、冠水・倒木等による通行止めの頻発箇所及び要防災対策箇所を回避 ③地域医療の支援 三次救急医療機関「津山中央病院」へのアクセス向上 ④事故対策の支援 現道から自動車専用道路への交通量の転換による死傷事故の減少が期待される ⑤地域間連携の支援 美作圏域と岡山圏域の交流促進					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 地元美作市長を会長とする美作・岡山間道路整備促進期成会や美作～岡山間道路改修促進期成会から毎年早期整備を要望されている。					
<b>事業評価監視委員会の意見</b> 事業継続を妥当と認める。					
<b>事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等</b> 地域高規格道路「美作岡山道路」の瀬戸IC～熊山IC間及び佐伯IC～吉井IC間が供用開始(平成30年度)					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 用地取得率約85%、事業進捗率約27%					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 引き続き、早期完了を目指し、用地補償、改良工事等を推進していく。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 建設発生土の有効利用や建設副産物の発生抑制等によりコスト縮減に努める。					

対応方針

事業継続

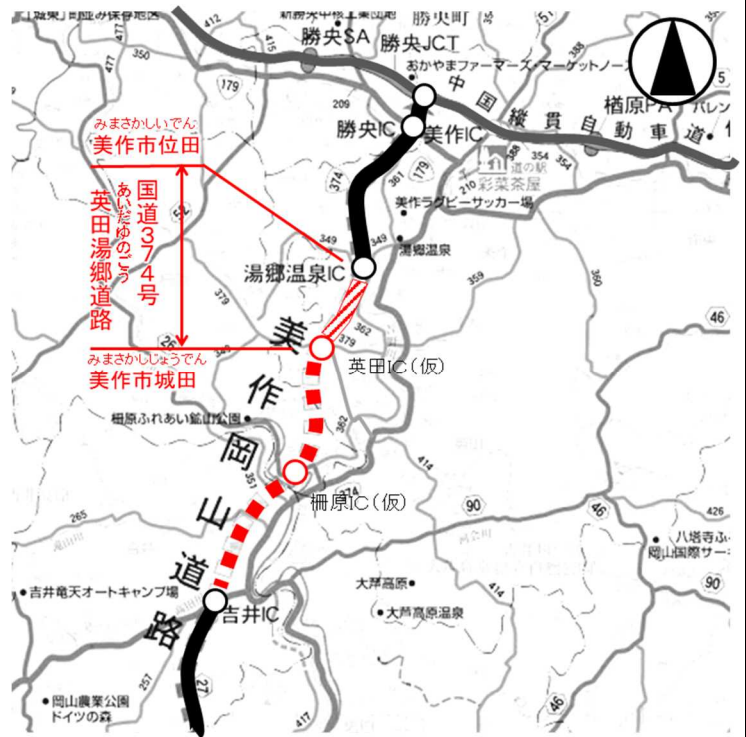
対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



凡 例	
当該箇所	
供 用 中	
事 業 中	



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。